# 2026年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月10日


上場会社名　　株式会社ＣＳ－Ｃ　　上場取引所　東
コード番号　　9258　　ＵＲＬ　https://s-cs-c.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）椙原　健
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　　（氏名）金城　一樹　　ＴＥＬ　03（5730）1110

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2026年９月期第３四半期の連結業績（2025年10月１日～2026年６月30日）

### （１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年９月期第３四半期 | 2,951 | 29.2 | △175 | － | △167 | － | △197 | － |
| 2025年９月期第３四半期 | 2,284 | － | △111 | － | △109 | － | △117 | － |

（注）包括利益　2026年９月期第３四半期　△197百万円（－%）　2025年９月期第３四半期　△117百万円（－%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年９月期第３四半期 | △29.66 | － |
| 2025年９月期第３四半期 | △17.68 | － |

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年９月期第３四半期 | 3,188 | 2,019 | 63.3 |
| 2025年９月期 | 3,275 | 2,216 | 67.7 |

（参考）自己資本　2026年９月期第３四半期　2,019百万円　2025年９月期　2,216百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年９月期 | － | 0.00 | － | 0.00 | 0.00 |
| 2026年９月期 | － | 0.00 | － | | |
| 2026年９月期（予想） | | | | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## ３．2026年９月期の連結業績予想（2025年10月１日～2026年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,626 | 14.1 | △70 | － | △68 | － | △69 | － | △10.40 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　2社　（社名）株式会社ごっつ、perzik株式会社、除外　－社　（社名）－

（注）詳細は、添付資料Ｐ．８「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年９月期３Ｑ | 6,662,300株 | 2025年９月期 | 6,662,300株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年９月期３Ｑ | 41株 | 2025年９月期 | 41株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2026年９月期３Ｑ | 6,662,259株 | 2025年９月期３Ｑ | 6,630,625株 |

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 8
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 8
（四半期連結損益計算書に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

# １．当四半期決算に関する定性的情報

## （１）経営成績に関する説明

当社グループは、「かかわる“Ｃ”(*1)に次のステージを提供し、笑顔になっていただく」をミッションに掲げ、「マーケティング、テクノロジー、コンサルティングスキルを武器とし、ローカルビジネス(*2)の活性化を通じて、消費者に日々の楽しみを提供し、店舗、街・地域、国が活性化されている状態。」及び「公益資本主義(*3)の浸透により、ビジネスと社会貢献が両立する世界が確立している状態。」の２つのビジョンの実現を目指し、日本のローカルビジネスを世界に誇れる産業へと成長させるべく事業を展開しております。

当第３四半期連結累計期間（2025年10月１日から2026年６月30日まで）におけるわが国経済は、インバウンド需要が引き続き高水準で推移いたしました。日本政府観光局（JNTO）の発表によると、中国からの訪日外客数は前年同月を下回る状況が続いているものの、2026年６月は台湾、韓国、米国、インドなど15市場において６月として過去最高の訪日外客数を記録するなど、宿泊・飲食を中心としたローカルビジネス市場は堅調に推移いたしました。一方で、慢性的な人手不足や原材料価格の高止まりに伴う店舗運営コストの増加により、ローカルビジネスを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。こうした状況を受け、ローカルビジネス業界においては、AI・DX(*4)を活用した生産性向上や収益性の改善を通じて、持続的な店舗経営を実現することの重要性が一層高まっております。

このような環境のもと、当社グループは、「ローカルビジネスDX事業」及び「リアル店舗事業」を両輪として成長戦略を推進いたしました。

ローカルビジネスDX事業においては、新サービスの提供を進めるとともに、2026年４月にperzik株式会社を子会社化し、人材採用支援（RPO(*5)）領域へ進出いたしました。これにより、従来のマーケティング支援に加え、人材採用支援まで提供領域を拡大し、ローカルビジネスの経営課題を包括的に解決する「次世代のローカルビジネスOS」の実現に向け、提供価値の向上を図りました。

また、リアル店舗事業においては、自社展開やM&Aを通じて自らがローカルビジネス（飲食店）の運営主体となり、日本の食ビジネスの魅力や価値を実証するとともに、飲食店における成功モデルの構築に取り組みました。

今後も、ローカルビジネスDX事業とリアル店舗事業を両輪として事業を展開し、マーケティング支援、人材採用支援（RPO）及びリアル店舗運営を通じて、ローカルビジネスの価値向上と魅力発信に取り組み、ミッション・ビジョンの実現及び企業価値の向上に努めてまいります。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,951,362千円（前年同四半期比29.2％増）、営業損失175,713千円（前年同四半期は営業損失111,896千円）、経常損失167,517千円（前年同四半期は経常損失109,282千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失197,573千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失117,229千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（ローカルビジネスDX事業）

当該セグメントでは、SaaS型マーケティングツール「C-mo（シーモ）」、コンサルティングとBPO(*6)を組み合わせた「C-mo Pro（シーモプロ）」を中心に、広告運用、SNS支援など、クライアント企業のマーケティング領域におけるDX推進及び業績向上に資するサービスを展開しております。

当第３四半期連結累計期間においては、2026年４月にperzik株式会社を子会社化したことにより、人材採用支援（RPO）領域へ進出し、店舗経営支援サービスのラインアップを拡充いたしました。また、宿泊施設向け価格最適化サービス「C-mo revenue」の提供開始や、検索市場の変化に対応したAIO(*7)機能の実装など、サービス機能の高度化を進めました。加えて、前期までの実証を踏まえ、歯科医院向けサービスの本格展開を開始するとともに、地域金融機関とのアライアンスの拡大を通じて営業基盤の強化を図るなど、新規顧客基盤の拡大に取り組みました。

この結果、当セグメントの売上高は2,188,507千円（前年同四半期比7.3％増）、セグメント利益は21,211千円（同335.8％増）となりました。また、2026年６月末時点のストック売上高は2,044,203千円（同1.5％増）となりました。

（リアル店舗事業）

当該セグメントでは、ローカルビジネスDX事業で培ったマーケティングノウハウを活かし、当社グループ自らがローカルビジネス（飲食店）を運営しております。

当第３四半期連結累計期間においては、2026年２月に株式会社ごっつを株式取得により子会社化したことで４店舗を承継したほか、池袋への新規出店及びマレーシア（クアラルンプール）でのポップアップ店舗の展開を通じ、国内外で16店舗を運営する体制となりました。また、株式会社ごっつについては、当第３四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

これらの店舗群は、日本の食ビジネスの成功モデルの構築を目指す戦略的事業として位置づけております。当

社グループ自らがローカルビジネスの運営主体となることで、店舗運営を通じた知見の蓄積やノウハウの高度化を図り、日本のローカルビジネスを世界に誇れる産業へと成長させることを目指しております。

この結果、当セグメントの売上高は678,542千円（前年同四半期比370.3％増）、セグメント損失は121,065千円（前年同四半期はセグメント損失62,419千円）となりました。

(その他)

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業であり、インバウンド客向け飲食店・食体験予約サービス「JAPAN FOOD GUIDE」を運営するメディア事業、飲食店向けサブリース事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

当第３四半期連結累計期間においては、「JAPAN FOOD GUIDE」における主要プラットフォームとの提携や、「WeChatミニプログラム」の提供を通じて認知拡大及び予約数の増加に取り組んだ一方、中長期的な認知度向上を目的とした戦略的な広告宣伝投資を実施したことにより、費用が先行いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は84,312千円（前年同四半期比16.4％減）、セグメント損失は75,859千円（前年同四半期はセグメント損失54,344千円）となりました。

(*1)かかわる“Ｃ”

CLIENT（クライアント）、COUNTRY・COMMUNITY（国・地域）、CONSUMER（消費者）、CHILDREN（子供たち）を指す。

(*2)ローカルビジネス

飲食店、美容・治療院、旅館・ホテルなど、地域に根差した店舗ビジネスの総称。

(*3)公益資本主義

世の中の不均衡を是正することを目的とし、会社経営で得た利益の一部を社会の課題解決へ再配分するという考え方。

(*4)DX

Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略。
企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(*5)RPO

Recruitment Process Outsourcing（リクルートメント・プロセス・アウトソーシング）の略。
企業の採用活動の一部又は全部を、専門的なノウハウを有する外部事業者へ委託する採用支援サービスのこと。

(*6)BPO

Business Process Outsourcing（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）の略。
企業活動における業務プロセスの一部を、専門的なノウハウを有する外部事業者へ委託すること。

(*7)AIO

AI Optimization（AI検索最適化）の略。
生成AIを活用した検索サービスにおける回答や検索結果への表示を最適化するための施策。

（２）財政状態に関する説明

(資　産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は1,884,287千円となり、前連結会計年度末に比べ405,888千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が343,575千円減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における固定資産は1,304,557千円となり、前連結会計年度末に比べ319,381千円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物（純額）が61,781千円、のれんが194,847千円、敷金及び保証金が55,138千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,188,844千円となり、前連結会計年度末に比べ86,507千円減少いたしました。

（負　債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は828,187千円となり、前連結会計年度末に比べ3,812千円減少いたしました。これは主に、未払金が76,548千円、未払法人税等が32,912千円減少した一方で、賞与引当金が91,189千円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における固定負債は341,233千円となり、前連結会計年度末に比べ114,881千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が77,367千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,169,421千円となり、前連結会計年度末に比べ111,069千円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は2,019,423千円となり、前連結会計年度末に比べ197,576千円減少いたしました。これは、利益剰余金が197,576千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.3％（前連結会計年度末は67.7％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年９月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の経済情勢、事業環境の変化等により、業績予想の修正が必要と判断した場合には、東京証券取引所の定める適時開示規則に基づき、速やかに開示いたします。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（2025年９月30日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,860,214 | 1,516,638 |
| 売掛金 | 354,100 | 290,355 |
| 原材料 | 2,452 | 5,610 |
| 前払費用 | 78,948 | 90,919 |
| その他 | 17,934 | 10,921 |
| 貸倒引当金 | △23,474 | △30,158 |
| 流動資産合計 | 2,290,175 | 1,884,287 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 175,192 | 274,723 |
| 減価償却累計額 | △74,637 | △112,385 |
| 建物及び構築物（純額） | 100,555 | 162,337 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,168 | 14,730 |
| 減価償却累計額 | △686 | △9,763 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,481 | 4,967 |
| 工具、器具及び備品 | 45,164 | 71,847 |
| 減価償却累計額 | △30,028 | △45,293 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 15,136 | 26,554 |
| リース資産 | － | 27,015 |
| 減価償却累計額 | － | △14,731 |
| リース資産（純額） | － | 12,283 |
| 有形固定資産合計 | 117,173 | 206,143 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 187,246 | 382,093 |
| ソフトウエア | 350,170 | 325,867 |
| ソフトウエア仮勘定 | 14,254 | 8,904 |
| 無形固定資産合計 | 551,672 | 716,866 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 30,000 | 30,000 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 1,193 | 942 |
| 敷金及び保証金 | 161,390 | 216,529 |
| 繰延税金資産 | 45,005 | 44,846 |
| その他 | 78,741 | 89,229 |
| 投資その他の資産合計 | 316,330 | 381,547 |
| 固定資産合計 | 985,176 | 1,304,557 |
| 資産合計 | 3,275,352 | 3,188,844 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 129,350 | 157,701 |
| 未払金 | 329,636 | 253,088 |
| １年内返済予定の長期借入金 | 63,600 | 67,356 |
| １年内返済予定のリース債務 | － | 3,635 |
| 未払法人税等 | 48,229 | 15,317 |
| 未払消費税等 | 59,776 | 41,494 |
| 契約負債 | 133,241 | 136,178 |
| 預り金 | 60,903 | 57,552 |
| 賞与引当金 | － | 91,189 |
| その他 | 7,262 | 4,672 |
| 流動負債合計 | 832,000 | 828,187 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 222,600 | 299,967 |
| リース債務 | － | 10,080 |

| | | |
|---|---|---|
| 資産除去債務 | 3,751 | 11,067 |
| その他 | － | 20,117 |
| 固定負債合計 | 226,351 | 341,233 |
| 負債合計 | 1,058,352 | 1,169,421 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 773,092 | 773,092 |
| 資本剰余金 | 773,148 | 773,148 |
| 利益剰余金 | 670,777 | 473,201 |
| 自己株式 | △18 | △18 |
| 株主資本合計 | 2,216,999 | 2,019,423 |
| 純資産合計 | 2,216,999 | 2,019,423 |
| 負債純資産合計 | 3,275,352 | 3,188,844 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 2024年10月１日<br>至 2025年６月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 2025年10月１日<br>至 2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 2,284,105 | 2,951,362 |
| 売上原価 | 1,011,648 | 1,334,742 |
| 売上総利益 | 1,272,457 | 1,616,620 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,384,354 | 1,792,333 |
| 営業損失（△） | △111,896 | △175,713 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 906 | 1,957 |
| 助成金収入 | － | 5,400 |
| 解約返還金収入 | － | 2,800 |
| 違約金収入 | 2,175 | 420 |
| 受取保険金 | － | 816 |
| 販売協賛金 | 88 | 143 |
| その他 | 363 | 141 |
| 営業外収益合計 | 3,533 | 11,677 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 919 | 2,964 |
| その他 | － | 516 |
| 営業外費用合計 | 919 | 3,481 |
| 経常損失（△） | △109,282 | △167,517 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | － | 2,655 |
| 特別損失合計 | － | 2,655 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △109,282 | △170,172 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 36,668 | 21,698 |
| 法人税等調整額 | △28,722 | 5,702 |
| 法人税等合計 | 7,946 | 27,401 |
| 四半期純損失（△） | △117,229 | △197,573 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | △117,229 | △197,573 |

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 2024年10月１日<br>至 2025年６月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 2025年10月１日<br>至 2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 四半期純損失（△） | △117,229 | △197,573 |
| 四半期包括利益 | △117,229 | △197,573 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △117,229 | △197,573 |

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

第２四半期連結会計期間において、当社の子会社である株式会社ＣＳ－Ｒが株式会社ごっつの株式を取得し子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

当第３四半期連結会計期間において、perzik株式会社の株式を取得し子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

（当座貸越契約）

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度<br>（2025年９月30日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 当座貸越限度額 | 900,000千円 | 900,000千円 |
| 借入実行残高 | － | － |
| 差引額 | 900,000千円 | 900,000千円 |

（四半期連結損益計算書に関する注記）

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2024年10月１日<br>至　2025年６月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年10月１日<br>至　2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 給与及び手当 | 525,556千円 | 636,674千円 |
| 支払手数料 | 113,235千円 | 186,858千円 |
| 地代家賃 | 89,580千円 | 136,302千円 |
| 役員報酬 | 98,997千円 | 116,853千円 |
| 法定福利費 | 102,211千円 | 116,765千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 110,506千円 | 109,717千円 |
| 減価償却費 | 13,508千円 | 25,920千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 33,781千円 | 6,603千円 |
| その他 | 296,975千円 | 456,637千円 |

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　2024年10月１日<br>至　2025年６月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　2025年10月１日<br>至　2026年６月30日） |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 108,229千円 | 113,871千円 |
| のれん償却額 | －千円 | 20,989千円 |

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2024年10月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他（注１） | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ローカルビジネスDX | リアル店舗 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 2,039,001 | 144,268 | 2,183,269 | 100,836 | 2,284,105 | － | 2,284,105 |
| その他の収益 | － | － | － | － | － | － | － |
| 外部顧客への売上高 | 2,039,001 | 144,268 | 2,183,269 | 100,836 | 2,284,105 | － | 2,284,105 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 73 | － | 73 | － | 73 | △73 | － |
| 計 | 2,039,074 | 144,268 | 2,183,342 | 100,836 | 2,284,179 | △73 | 2,284,105 |
| セグメント利益又は損失（△） | 4,866 | △62,419 | △57,552 | △54,344 | △111,896 | － | △111,896 |
| 減価償却費 | 88,050 | 4,065 | 92,115 | 16,114 | 108,229 | － | 108,229 |
| のれん償却額 | － | 4,927 | 4,927 | － | 4,927 | － | 4,927 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業であり、メディア事業（「JAPAN FOOD GUIDE」の運営）、代理店手数料収入等を含んでおります。

２．セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当第３四半期連結累計期間より、株式会社プレディアの株式取得に伴い、報告セグメントを従来の「ローカルビジネスDX」の単一セグメントから、「ローカルビジネスDX」、「リアル店舗」、「その他」の３区分に変更しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「リアル店舗」セグメントにおいて株式会社プレディアの株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては197,101千円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2025年10月１日　至　2026年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他（注１） | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ローカルビジネスDX | リアル店舗 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 2,188,507 | 678,542 | 2,867,050 | 56,683 | 2,923,733 | － | 2,923,733 |
| その他の収益（注２） | － | － | － | 27,628 | 27,628 | － | 27,628 |
| 外部顧客への売上高 | 2,188,507 | 678,542 | 2,867,050 | 84,312 | 2,951,362 | － | 2,951,362 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 2,188,507 | 678,542 | 2,867,050 | 84,312 | 2,951,362 | － | 2,951,362 |
| セグメント利益又は損失（△） | 21,211 | △121,065 | △99,853 | △75,859 | △175,713 | － | △175,713 |
| 減価償却費 | 87,528 | 7,609 | 95,138 | 18,733 | 113,871 | － | 113,871 |
| のれん償却額 | 2,935 | 18,054 | 20,989 | － | 20,989 | － | 20,989 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業であり、メディア事業（「JAPAN FOOD GUIDE」の運営）、サブリース事業、代理店手数料収入等を含んでおります。

２．その他の収益には、サブリース賃料収入が含まれております。当該収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づき処理しており、「収益認識に関する会計基準」の適用範囲外であります。

３．セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「ローカルビジネスDX」セグメントにおいてperzik株式会社の株式を取得し、また、「リアル店舗」セグメントにおいて株式会社ごっつの株式を取得したことに伴い、それぞれを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては209,629千円であります。